

# 県 中 広 報

事務局発行 (E-mail : h34@ken-chu-hiroshima.nss55.net)

令和6年6月7日

(http://www.ken-chu-hiroshima.nss55.net/)

## 本年度会長に、谷川 清二 校長（廿日市市立大野東中学校）選出

令和6年4月12日（金）に常任理事会が開催され、本年度の本部役員候補者の選考が行われました。その後の理事会において、次の方々が本年度の本部役員として承認され、決定しました。

会長	谷川 清二	（廿日市市立大野東中学校）	副会長	出張 幸雄	（安芸高田市立高宮中学校）
副会長	河北 光弘	（海田町立海田中学校）	副会長	坂口 守	（呉市立天応学園）
副会長	藤井 護	（福山市立済美中学校）	副会長	坂口 守	（呉市立天応学園）
副会長	白石 順子	（神石高原町立神石高原中学校）			
会計監査	田中 祐二	（江田島市立能美中学校）	会計監査	山岡 修一	（三次市立三和中学校）
事務局長	郷地 忠幸	（東広島市立八本松中学校）			

また、会長の委託等により次の方々が本部役員及び事務長に決定しました。

事務局長	河本 英希	（呉市立吉浦中学校）	幹事	藤井 規光	（福山市立城東中学校）
幹事	小原 正啓	（尾道市立瀬戸田中学校）	幹事	友瀧佳司之	（福山市立鞆の浦学園）
幹事	木村 健二	（廿日市市立野坂中学校）	幹事	友瀧佳司之	（福山市立鞆の浦学園）
幹事	林 健太郎	（安芸太田町立安芸太田中学校）			
事務長	石井 博基				

## 本年度基本姿勢 「連携 結束 創造」

### 谷川 清二 会長 あいさつ（概要）

#### 1 はじめに

- ・変化の激しい時代の学校経営に対応する ※冊子「中学校」の表紙の言葉から  
免許更新制廃止後 教員研修の充実 教職員に求められる資質能力  
教員不足 教員育成の充実 激甚化する災害 自殺予防教育  
地域の人物・物的資源の活用 ヤングケアラー 部活動の地域移行  
働き方改革と働きがい改革 業務改善 教職員のモチベーション  
コロナ禍後 特別支援教育の充実
- ・広島県公立中学校長会の目的（広島県公立中学校長会規約第4条（目的））  
本会は、県内の組織団体が緊密な協調を保ち、校長としての職能の向上と教育の振興発展を図り、もって平和な文化国家の建設に寄与することを目的とする。
- ・今さらながら“温故知新”も…  
「変化の時代じゃない時代なんてありました？」 YMFG テレビCM から  
変化への「対応」とはれない「芯」、加えて「創造」…



#### 2 改めて令和6年度の活動計画から「1 活動方針」

- (1) 「県中教育ビジョン」に示された5つの柱を基盤として、諸課題の解決に向けて着実に徹底して取り組む。
- (2) 連携・協力を基盤とし、全会員の結束を強め、共に支え合い、学び合い、高め合いながら、その力を結集し、見通しをもって教育改革をさらに推し進める。
- (3) 令和5年度の四専門委員会の提言内容を踏まえて重点的に取り組むと共に、研究内容の一層の充実を図り、組織として提言ができる校長会を目指す。
- (4) 校長としての使命を自覚し、倫理観を高め、自己研鑽に努め、学校の自主性・自律性を確立すると共に、不祥事の根絶を目指し、県民の信頼に応える中学校教育の創造に努める。
- (5) 教育関係機関等との連携を密にし、「広島で学んでよかったと思える 広島で学んでみたいと思われる 日本一の教育県の実現」に努める。
- (6) 広島県公立中学校長会の組織運営体制の機能化をより一層図っていく。
- (7) 令和6年度第58回中国・四国中学校長研究会広島大会を円滑に開催すると共に、その成果を整理し、発信していく。

#### 3 基本姿勢の言葉に込める思い…

- ・連携…「横の連携」の大切さ（相談し助けていただいた経験）、「縦（前任の校長先生等）の連携」も含めて…
- ・結束…広島県の全公立中学校長・全公立義務教育学校長が協力、結束して活動、研究、発信等を行う重み…
- ・創造…第58回中国・四国中学校長研究会広島大会スローガン「新たな価値の創造を 学びの変革地 広島から」を踏まえて…

#### 4 おわりに

- ・つながりを大切に…。悩みを出し合い、共に学び合い、高め合い、励まし合える校長会を
- ・校長会での研修、研究等の更なる充実を

### 第1回理事会

令和6年4月12日(金) 東区民文化センター

はじめに令和5年度活動報告(案)及び会計決算(案)が検討され、次に役員  
の改選が行われました。続いて、新会長の経営方針が示された後、令和6年度活  
動計画(案)及び予算(案)並びに大会宣言(案)が検討され、代議員会に向け  
ての準備が整いました。

午後には、広島県教育委員会事務局 義務教育指導課 教育指導監 村田耕一  
様から「令和6年度の重要施策と校長に期待すること」と題して指導講話をいた  
だきました。その中で、これまで取り組んだ「学びの変革」の成果と課題をデー  
タ等で示し説明いただき、これからの「学びの変革」の深化に向けての方向性、  
管理職のリーダーシップと授業改善サイクルが持続する仕組みづくりの大切さ、  
個別最適な学びの実践例を紹介いただきました。今後の学校経営に対する多くの貴重な御示唆をいただきました。



### 第1回四専門委員会

令和6年5月9日(木) 東区民文化センター

昨年度の実践を踏まえ、今年度の推進体制と活動計画が確認されました。県中  
校長会の活動の中核としての四専門委員会の組織的活動を充実させ、研究をさら  
に進めることで、会員である校長の資質・能力の向上を図っていきます。

この日、広島県教育委員会事務局から4名の皆様(義務教育指導課 教育指導  
監 村田耕一様、同じく 主任指導主事 小池紘太郎様、同じく 主任指導主事  
丸山博章様、豊かな心と身体育成課 生徒支援係長 土田俊弘様)をお招きし、  
各専門委員会の研究について御指導をいただきました。



本年度の各委員会の体制、活動内容等は次のとおりです。

委員会	◎委員長 ○副委員長 □県公連委員	◇基本方針 ・活動内容
学校 経営	◎□荒森 圭子(明徳中) ○□立田 晃(磯松中) ○□永井 博美(比和中) □奥本 実(大和中)	◇新たな教育課題等へ適切に対応できる学校体制を構築し、教育の質 の向上を図るため、学校経営の諸課題について校長のマネジメン トの視点から研究を推進する。 ・学校経営の諸課題について、特に働き方改革や業務改善に係る調査・ 研究を行う。 ・学校経営上の諸課題についての研修を行う。
教育 研究	◎□大島 美紀(白岳中) ○□原田 二郎(安芸津中) ○□新谷 陽子(東朋中) □大里 康暁(阿賀中)	◇「主体的・対話的で深い学び」の深化に向けて、「授業改善」と「評 価の在り方」について研究を進める。 ・「主体的・対話的で深い学び」を充実するための授業改善等につい ての調査・研究を行う。 ・生徒の成長につながる妥当性・信頼性のある評価の在り方につい ての調査・研究を行う。
進路 指導	◎□松田 智広(佐伯中) ○□松田 光弘(広中央中) ○□草本 泰宏(熊野東中) □中山 勝志(高美が丘中)	◇生徒一人一人に望ましい勤労観・職業観及び職業に関する知識や技 能を身に付けさせるとともに、自己の個性を理解し、主体的に進路 を選択する能力・態度を育てるキャリア教育の在り方について研究 を推進する。 ・キャリア教育の推進に係る調査・研究を行う。 ・キャリア教育の事例研究を行う。 ・進路未決定者の状況についての調査を行う。
生徒 指導	◎□小島 弘之(中央中) ○ 八川 慎一(大柿中) ○□大里 剛(吉田中) □濱原 光伸(向東中) □森島 誠(松永中)	◇『生徒の自己指導能力を高めるための積極的生徒指導の在り方につ いて』—生徒指導上の諸課題の解決に向けて— ・「不登校グループ」と「インターネットグループ」の研究グループを 作り、調査・研究を実践する。 ・アンケートを実施し、考察・検証を行い、今後の課題を明らかにし、 効果的な実践事例を紹介する。